

万富東大寺瓦窯跡における令和7年度発掘調査 の現場公開を実施します

市では将来的な史跡の整備を見据え、万富東大寺瓦窯跡における発掘調査を毎年実施しています。今年度は1月から発掘を行っており、調査も予定通り進行したことから、現場を一般に公開し成果を紹介します。

1 日時

令和8年2月28日(土)10時～15時 (小雨決行)

2 場所

万富東大寺瓦窯跡 大寺山地区(東区瀬戸町万富)

3 内容

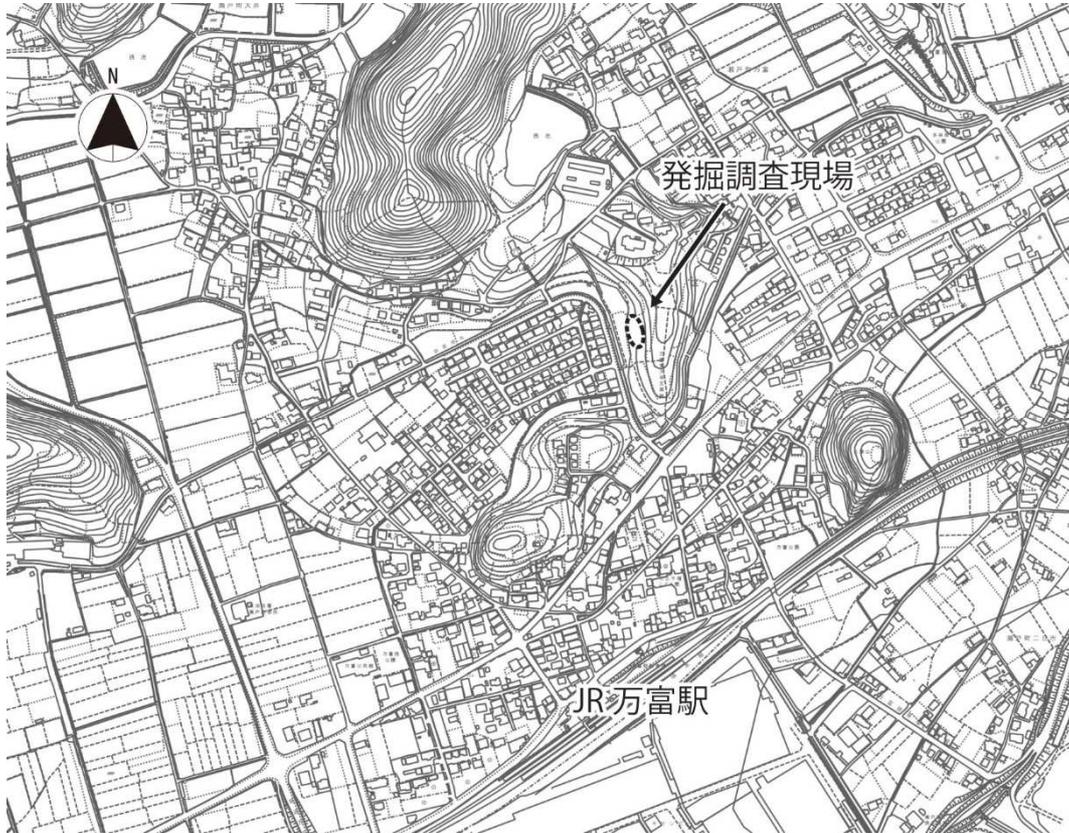
令和3～6年度の調査では瓦窯を13基、礎石建物、土器窯、瓦列を確認しました。令和7年度調査では瓦を使用した排水施設や史跡地北側における土地利用の変遷がわかりつつあります。特に排水施設は完形の瓦を利用していることから、その性格の追及は遺跡の価値づけにも関わってきます。また、遺物は瓦を中心としたものが出土しました。

4 その他

万富東大寺瓦窯跡は、鎌倉時代初頭(今から800年以上前)に源平合戦で焼失した東大寺再建の際、大仏殿や南大門に葺かれた瓦を焼成した窯跡です。

【問い合わせ先】

岡山市教育委員会 文化財課 原田 直通086-803-1611 内線3877



万富東大寺瓦窯跡調査位置
破線の位置にて現場公開を行います。